



あとむ

姫路科学館友の会会報 第182号(2023年1月)(友の会事務局発行)

新年あけましておめでとうございます。

平素は友の会の活動にご理解、ご協力いただきありがとうございます。今年もどうぞよろしくお願いたします。

さて、科学館では1月5日(木)から22日(日)まで「カガク初め!展」を開催しています。例年同様、科学館と友の会の共催イベントです。科学館裏庭で実をつけていた「マンリョウ」を始め、新春を彩る植物や今年の干支「卯」にまつわる展示もあります。ぜひご覧ください。

(友の会会長 上田倫範)



花の歳時記 「ヤクシソウ」(キク科)

北海道から九州にかけて、日当たりの良い山野に自生する越年草(二年草)です。新しく林道をつけた斜面の裸地に真っ先に侵入するパイオニア植物です。葉は互生し、縁に浅い鋸歯があり、基部は後方に大きく張り出して茎を抱いています。8月から11月にかけて枝先に多数の黄色い花を散房状に咲かせます。

葉の形が薬師如来の光景に似ているところからこの名がつけました。また、茎や葉を折ると苦味のある白い乳液を出すところから別名ウサギノチチと呼ばれます。

全草を民間薬として、浴湯料や凍傷に用います。



(友の会理事 古角孝之)

目次

- P1 会長挨拶(友の会会長 上田倫範)、花の歳時記(友の会理事 古角孝之)
- P2 ヤマガラ通信(姫路科学館専門員・西播愛鳥会 森田俊司)
- P3 地球と生命の歴史(姫路科学館 学芸・普及担当課長補佐 徳重哲哉)
- P4 「科学の足あと」シリーズ(元姫路科学館 吉岡克己)
- P5 北海道からのお便り(札幌市青少年科学館 学芸課天文係 福澄孝博)
- P6 科学のタネ(姫路科学館 学芸・普及担当 安田岳志)
館長の科学館だより(友の会常任理事 姫路科学館館長 中川吉郎)